

令和3年度第2回物流等関連施設等指定管理者選定評価委員会会議録	
日 時	令和3年8月31日（火）10時00分～12時00分
開 催 場 所	横浜市役所 18階会議室さくら14
出 席 者	來生委員長、浅井委員、上原委員、原田委員、三縄委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	非公開
議 題	1 応募の状況について 2 書類審査 3 面接審査 4 意見交換 5 採点・集計 6 その他
決 定 事 項	1 応募者が欠格事項に該当しないことを確認した。 物流等関連施設：横浜港埠頭株式会社 港湾厚生関連施設：一般社団法人横浜港湾福利厚生協会 2 書類及び面接審査の結果を前回の委員会で決定した評価基準に基づき採点した結果、両応募者ともに最低基準点を満たした。 3 最終報告のとりまとめに向けた意見交換を行った。
議 事	1 応募状況について （事務局）物流等関連施設については横浜港埠頭株式会社（以下「埠頭会社」という。）より8月12日に、港湾厚生関連施設については、一般社団法人横浜港湾福利厚生協会（以下、「厚生協会」という。）より8月6日に応募書類が提出された。両者とも、欠格事項の「法人税等の租税を滞納していること」及び「暴力団又は暴力団支配法人等であること」に該当しないことを確認した。 2 書類審査及び面接審査 （事務局）審査の方法について説明。 （委員長）応募者の財務状況について説明を求める。 （委 員）両応募者の財務状況については、どちらも良好である。 （委員長）応募書類は事前に確認済みなので、応募者からのプレゼンテーション、ヒアリングを行う。埠頭会社、厚生協会の順番で進める。 ≪埠頭会社プレゼンテーション及びヒアリング≫ 主な質疑項目は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービス等について ・経費節減策等と収支計画について ・法令の遵守について ・自主提案事業について ・指定期間中の収支計画について ≪厚生協会プレゼンテーション及びヒアリング≫ 主な質疑項目は以下のとおり。

- ・利用者サービス等について
- ・経費節減策等と収支計画について
- ・安全対策について
- ・個人情報について
- ・自主提案事業について

3 採点・集計

(事務局) 各応募者の総得点は以下のとおりである。

- ・物流等関連施設：横浜港埠頭株式会社 798点/1,000点満点
 - ・港湾厚生関連施設：一般社団法人横浜港湾福利厚生協会 777点/1,000点満点
- 両者ともに、最低基準である合計得点 600 点かつ各大項目の得点が 40%を超える条件を満たした。

(委員長) 両応募者とも、委員会が定めた最低基準点を満たし、指定管理者としてふさわしいと判断される。指定候補者として選定するため、最終報告に向けた意見交換を行う。

<物流等関連施設について>

- (委員) 「現場重視」「利用者目線」の取組姿勢が明確に示されており、評価できる。
- (委員) 輸出業者だけでなく、輸入業者に対しても高機能な施設を目指している姿勢がうかがえた。
- (委員長) ダイヤモンドプリンセス号が着岸した際には、埠頭の機能を維持するために、自社施設と一体的な運用を実施した。今後の予期せぬ災害等についても、対応が期待できる。

<港湾厚生関連施設について>

- (委員) 給食事業のお弁当を利用したことがあるが、とても質が良く、利用者サイドに立った経営努力を感じた。
- (委員) トイレ清掃などのきめ細かいサービスを、コロナ禍においても、維持した点は評価できる。港で働く人たちの環境づくりに大変貢献している。
- (委員長) 住宅の設備事業において、洋室化の推進等、利用者のニーズを考えた改善を図る姿勢がみえる。

4 その他

(事務局) 今後のスケジュールについて説明。

<説明要旨>

- ・第3回委員会は、9月下旬に開催する。
- ・本日の会議における意見交換及び「御意見シート」を踏まえた選定報告書案を作成し、事前に委員に送付する。
- ・第3回委員会では、選定報告書を確定し、指定候補者を正式に選定する。

(委員) 了解。

資 料 ・ 特 記 事 項	1 配付資料 会議次第 資料1：物流等関連施設応募書類 資料2：港湾厚生関連施設応募書類 資料3：指定管理収支決算書（平成30年度～令和2年度）及び令和3年度収支計画書 資料4：採点シート 資料5：御意見シート
---------------------------------	---